

ふみびと

第4号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

すべての都道府県に ふみびとを

想いを言葉に

人は様々な出来事に出くわしている。嬉しいことや、楽しいこと、嫌なことや、悲しいこと。それらのすべてに人は何かしらの想いを胸に抱く。想いとは、言葉にできない心の訴えなのかもしれない。言葉にしたいと思つ一方で、言葉にすると、その想いはもろくも崩れ、言葉につまる感覚に陥ってしまう。

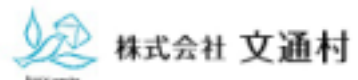
そのような意味で、想いを言葉にするのは難しい。でも、あえて言葉にしよう。言葉で想いを形づくろう。言葉というガムテープで、想いをぐるぐる巻いてしまおう。見た目が悪くなつてもかまわない。それが重要なわけではないから。大切なものは、その自身の想い。もしかしたら、その自身はマグマのような熱いかたまりかもしれないし、または、触れたら壊れてしまつガラスのような繊細

なかたまりかもしれない。そして、その想いは、必ず相手に届くだろう。文通村のふみびとはみな知っているのだ。大切なのは、自身のほうだということ。ガムテープだろうと、きれいな包装紙だろうと、巻かれているものが一番ではないということ。

想いとは、言葉で表そうとすると壊れてしまふような心の叫び。その心の叫びをお互いに分かり合える素敵な仲間たちで共有しよう。想いを言葉にするこの大切さ。言葉から想いを読み取る優しさ。そんなやりとりも手紙の一つの楽しさであり、喜びでもある。

お盆の渋滞情報をしきりに流す今日この頃、思い出すのは今は亡き人達からの手紙である。想いのこもつた手紙をたくさんもらった覚えがある。私からはあまり手紙を返した覚えはなかつたけれど、必ず何かあると手紙を送ってくれた。目には見えないうその優しさがこの歳になつて、目にもしみるし、心にもしみみてゆく。手紙を捨てることのできない性格の私は、時々目にする昔の手紙を読みながら、今の自分が支えられて在ることを改めて知るのである。

編集後記



文通村では、ふみびとの皆様からの要望等をお待ちしています。たとえば、「川柳の大会を開催してほしい」「なぞかけの大会を開催してほしい」「俳句をみんなで作りたい」などなど。ふみびとのみんなが作る村「文通村」は皆様のご意見を募集しています。

問い合わせ: 文通村事務局
電話 0476-37-6067
平日9時～16時(土日祝日を除く)

手紙という旅

旅は、人を生き生きさせ、いつもの日常から非日常的な世界へと私たちを導いてくれる。そんな旅と似ているのが、手紙ではないだろうか。自身自身が遠くへ行くわけでもない。だが、手紙が自分の代わりに旅をする。まだ見ぬ世界に旅をする。見たことも聞いたこともない

世界について興味を持ち、まだ見ぬ相手に語りかける。「そちらはどのようなところですか」「おい

相手からの質問だつてあるだろう。その時、はじめて自分自身の立場を知る。境遇を知る。自分からは大したことのない現状。でも、相手からは新鮮な話。もう一度、自分と向き合える穏やかなひととき、それが手紙という旅である。小さな一歩が、世界を広げてくれるかもしれない。(保)



お盆の渋滞情報をしきりに流す今日この頃、思い出すのは今は亡き人達からの手紙である。想いのこもつた手紙をたくさんもらった覚えがある。私からはあまり手紙を返した覚えはなかつたけれど、必ず何かあると手紙を送ってくれた。目には見えないうその優しさがこの歳になつて、目にもしみるし、心にもしみみてゆく。手紙を捨てることのできない性格の私は、時々目にする昔の手紙を読みながら、今の自分が支えられて在ることを改めて知るのである。

文通村 掲示板

文通募集欄



「kororo」さん
彩の国通り1番地

「お歳・性別」40代 男性

「趣味」読書・音楽鑑賞・美術館・博物館めぐり・山登り・英語

「自己紹介」kororoと申します。40代前半の男性で、

まだ独身です。職業は大工をしており、趣味は主に読書です。本好きが高じて、自分で物語を書くところという試みを今始めているところです。いずれ外国に住もうという夢があり、英語の学習をしています。日本の木造建築技術は世界的に見ても優れていると思っています。将来はこの技術を外国にも伝える貢献ができればと考えています。

「お遍路」さん

ピーナッツ通り1番地
「お歳・性別」60代 女性

掲示板

「趣味」旅行、書道、絵

「自己紹介」区切りうちの歩き遍路をしています。3年後の満願をめざしています。やり通せるか不安があります。何でもよいですから情報がありませんたら、お知らせください。また、お手紙を送りあえる方を探しています。よろしくお願いします。

「アクア」さん

琵琶湖通り1番地

「お歳・性別」30代 女性

「趣味」読書、散歩、パズル、写真を撮る

「自己紹介」はじめまして。しばらくメールでのやり取りを主にしていたのですが、やはり手紙のあたたかさ、ポストを開ける楽しさをまた味わいたくなりました。老若男女問わず色々な方と日常のことや趣味、悩みなど様々なことを語り合えたらうれしいです。お手紙おまちしています。

「銀河の旅人」さん

六甲通り1番地

「お歳・性別」50代 男性

「趣味」写真、旅行

「自己紹介」毎日仕事に追われ、休日は家でポットとしていることが多いです。パソコンやメール、テレビ等、機械化した日常の中で、学生時代にやっていた文通が懐かしく思います。

頼られふみびと

育児、子育て

「お遍路」さん

ピーナッツ通り1番地

オフィスソフト

インターネット

「アクア」さん

琵琶湖通り1番地

お住まいの相談

「kororo」さん

彩の国通り1番地

シックハウス症候群対策や、アトピーでお悩みの方にも住宅

の環境を変えることで、症状を改善できることも、アドバイスできます。

文通村サービス向上

「文通村村長」

文通村役場1番地

文通村での手紙の送り方

まずはじめに、気になつた方のペンネームと文通村住所を封筒の宛名に書きましょう。もちろん差出人のペンネームと文通村住所も書いてあげましょう。

お相手の自己紹介などを通じて趣味や相談、日常のことなど何でも良いのでお手紙を書きましよう。

そのお手紙をさきほど書いた封筒に入れましよう。

もしも、気になつた人が他にも数人いたら同じように手紙を書き封筒に入れましよう。

ここで重要なのが、これらの封筒には切手は貼る必要がないということです。文通村が用意した返信用封筒にのみ切手を貼ります。

つまり、お手紙好きの人は切手代をたくさんかけずに何人もの人と文通をやり取りできるシステムなのです。

まずは、自分からたくさんの方にお手紙を送るようになしてみると良いでしょう。手紙の輪は最初の一通から始まります。

